

宿泊型新保健指導(スマート・ライフ・ステイ)プログラム①

【目的】

健康寿命延伸のため、特定保健指導などにより生活習慣病の予防に取り組んでいるが、多くの国民が生活習慣病予防に取り組むために、さらに効果的かつ実現可能性の高い保健指導プログラムの開発が必要。

厚生労働科学研究及び国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)委託研究により、「生活習慣病予防のための宿泊を伴う効果的な保健指導プログラムの開発に関する研究」を実施。

【スケジュール】

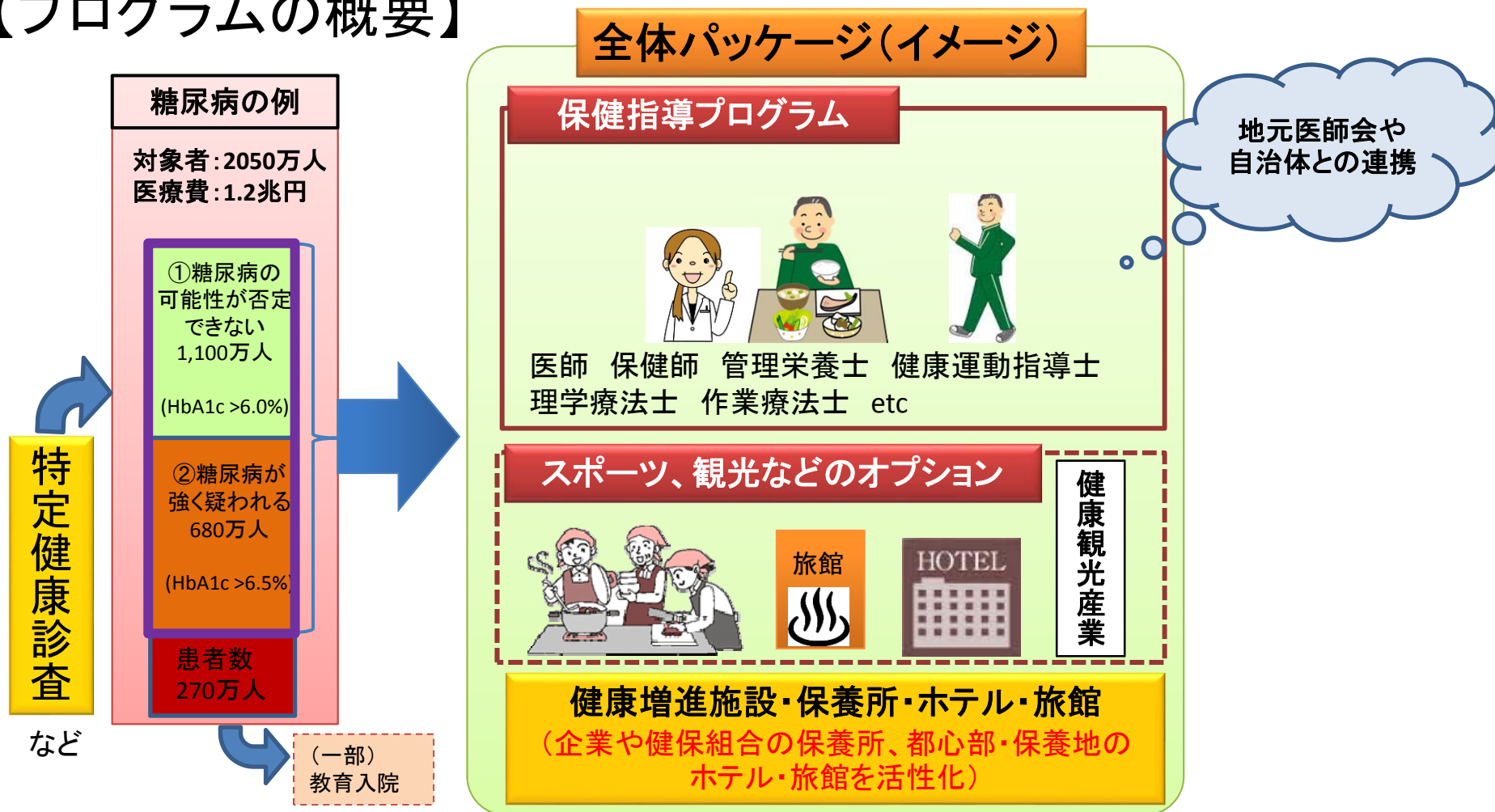
平成26年度 保健指導プログラム案の検討(厚生労働科学研究)

平成27年度 研究成果を踏まえた試行事業

平成28年度 プログラムの効果検証等(AMEDによる研究)

宿泊型新保健指導(スマート・ライフ・ステイ)プログラム②

【プログラムの概要】



〈メリット〉

- ①快適な環境でやる気向上
- ②集中的な保健指導で効果向上
- ③将来的な重症化を予防

〈目的〉

健康増進、健康・観光産業の発展、
医療費適正化を同時に実現

宿泊型新保健指導(スマート・ライフ・ステイ)プログラム③

【成果】

- 平成30年度に第三期特定健康診査等実施計画が開始されることを踏まえ、平成28年度から「特定健康診査・特定保健指導の在り方に関する検討会」において特定健診・保健指導の項目や実施方法等が検討された。
- 体験学習や相談機会の増加、グループダイナミクスの相乗効果等を特徴とする「宿泊型新保健指導(スマート・ライフ・ステイ)は、当該検討会において議論された結果、従来の保健指導では十分に効果が得られなかった者等に対する保健指導の新たな方法の1つとして、「標準的な健診・保健指導プログラム」(平成30年度版)へ掲載される予定である。